

## 保険調剤基礎コースを終えて

期日：2018/4/9～2018/4/12

講師：ネオフィスト研究所吉岡 ゆうこ先生

場所：新宿センタービル 13階

岩下 知磨

○保険薬局で仕事をしていくうえでの心構え、薬局・薬剤師を取り巻く環境の変化について

薬剤師行動規範にあるように、薬剤師に求められていることはなにか、薬剤師は何を学び行動していく必要があるのかを学ぶことができました。保険調剤を実施するうえで患者への対応には「薬剤師の誓い」のような理念・信念があるということ、また、日本国憲法の人間の尊重や生存権が保険調剤の基盤となっていることを前提に薬剤師として動いていかなければならないと感じました。

薬局・薬剤師を取り巻く環境の変化については、医薬分業のこれまでの経緯や薬局に求められていることが門前薬局のような立地の利便さだけでなく、患者や地域のニーズにこたえるような機能的な薬局が求められていること、薬剤師業務の在り方としてただ薬を揃えて渡すだけの対物業務から患者や地域との関わり合い高める対人業務への変化していること、かかりつけ薬局・薬剤師になることによって患者の服薬状況や患者の状態に関する情報の一元化と多職種・他機関との連携による地域包括ケアを担っていくことの重要性について学ぶことができました。

○薬剤師関連法規、医療保険制度、調剤報酬について

薬剤師関連法規や医療保険制度に関しては、学生時代に学んだこともあれば、知らなかった内容等が多々あり、法規や保険制度を学んでいくことも薬剤師として必要なことであり、特に法規に関しては薬局経営者にとっては必須であると感じました。また、医療保険制度内容を熟知しておくことで、患者がどのような経緯で病院にかかっているのか等を読み取るきっかけになり、スムーズに患者への対応ができるようになるのではと思いました。

調剤報酬に関しては、普段は自動で計算してくれるのであまり点数がどう計算されているのかを意識し忘れがちですが、改めて学ぶと、算定条件や計算方法などの仕組みがとても細かく複雑であり、薬剤師自身が直接計算することがないとしても知っておく必要がある内容であると思いました。特に分割調剤時の点数に関する事項など、知っていなければ患者にとっても自分にとっても混乱を招くことがあるかもしれないと感じました。

#### ○薬学的管理指導、疑義照会ロールプレイ、薬歴の書き方について

ロールプレイでは、患者からいかに情報を引き出すか、患者と接するうえでどのようなことに気を付ける必要があるのか、疑義照会をするにあたり医師が納得するような処方案の提案・根拠の提示、喋り方等について学ぶことができました。人と人とが互いに言葉を交わすことでコミュニケーションが成り立つため、会話のマナーや「開かれた質問をすべき」か「閉じた質問」といったことを意識して行う必要があると感じました。

薬歴については、薬歴は患者の状態やこれまでどのような治療が行われてきたのかを表す重要なツールであり、SOAP形式で書くうえで患者の訴えや薬剤師が気づいたこと等をわかりやすく、簡潔にまとめる必要があることを学ぶことができました。他の薬剤師の先生が見てもわかりやすいように書くこと、見てすぐに患者についての情報を得ることができるような薬歴を書けるように心がけていきたいと思えます。

#### 【感想】

今回、保険調剤基礎コースを終えて、これから薬剤師として働いていくうえで新人の自分にとってとても貴重な経験をすることができたと思えます。全体を通して、学生時代に学んだ内容から変化があり、覚えておかなければならないことや改めて学んだ知識を自分の中で整理しておく必要があると感じました。まだまだ学ぶことが多く、圧倒的に知識が足りないと実感しましたが、今回の研修を通して学んだことを糧に成長していきたいと思えます。

吉岡先生にはお忙しい中最後までお教え頂き、ありがとうございました。